

「進路学習の体系化」資料 1

発達段階に応じた、将来設計能力の具体的な能力・態度

将来設計能力

夢や職業を思い描きながら将来の生き方や生活を考え、自分の目指すべき将来を暫定的に計画し、それに基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力できる力

国研の枠組み(例)	役割把握・認識能力			計画実行能力		
	生活・仕事上の多様な役割や意義及びその他の関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力			目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力		
	自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。	日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。	様々な職業の社会的な役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。	進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。	将来の進路計画に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。
	自己の役割	将来との関連	職業との関連	関心・意欲	計画力	実行力
1学年	自分の役割やその進め方が分かる。	卒業後の自分をイメージしながら、望ましい中学生活の送り方を考える。	世の中には様々な職業があることを認識し、自分に適した職業を考える。	将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしいものは何か考える。	自分の目標に向けて計画を立てる意義に気付き、実際に立案する。	定期テスト等を中心に学習計画を立て、目標達成に向けて努力する。
2学年	よりよい集団活動のための、自分の役割や進め方が分かる。	将来の自分の生き方と、現在の日常生活や学習とのつながりに気付く。	体験学習を通して、職業がもつ社会的な役割や意義に気付き、自分なりの勤労観や職業観をもつ。	体験学習を通して、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。	進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。	暫定的な進路計画に基づき、当面の目標を設定し、達成に向けて努力する。
3学年	場面や場所、周囲の状況に応じた、自他の立場や役割、適切な言動や進め方等が分かる。	将来の夢を実現するため、自分の将来をよりよいものにするという視点で、日常生活や学習を見直し、改善する。	自分の勤労観や職業観を基にして、様々な職業の役割や意義をとらえつつ、自己の生き方を考える。	社会の状況と自分の進路計画とを結び付けながら、将来の夢や職業を現実にとらえる。	目標とする将来の生き方や進路を実現するための、現実的な進路計画を立てる。	現実的な進路計画に基づいて具体的な目標を設定し、達成に向けて努力する。

は、国立教育政策研究所が示す、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み(例)」の記載内容であることを指す。